

## ま と め

既存の在宅人工呼吸器マニュアルは数冊あるが、それらは機器の取り扱いや気管切開創の処置などに関する看護法が中心に述べられている。療養者のQOLや介護する家族に対する看護法については詳しくはない。今回検討し、作成するガイドラインはこれらの課題を中心にするものである。

今回収集できた資料は、200をこえる数であった。これだけの実践を普及できるよう、今後も一般化に向けた研究が必要である。